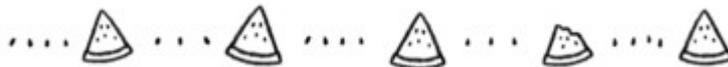
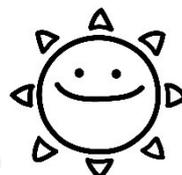
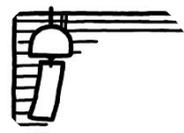


2025年度 8月号

ぞうぐみだより

社会福祉法人 尚徳福祉会 生麦保育園



暑い日々が続き、室内での活動が多くなり、室内遊びをじっくりと楽しむ姿が見られます。好きなあそびを思う存分楽しみ、満足気な様子や、室内で集団遊びをして喜ぶ様子もあり、室内の活動も充実して過ごしています。

室内にいてもしっかりと水分補給を行い、熱中症対策も行い暑い夏を元気に過ごせるようにしていきたいと思えます。



うちわ制作

夏にちなんだうちわの制作を行いました。子どもたちにどんな制作をしたいか尋ねると、「花火！」と元気な声が聞こえてきました♪机のグループ名は、子どもたちが決めた恐竜なので、手形で恐竜はどう？と聞くと、「やってみよう！」とのこと。恐竜の手形は、大きな紙で練習をしながら行い、花火はどんな花火だったのかな～と思い出しながら取り組んでいました。それぞれの作品に、色々な思い出が加わって素敵な夏の制作に仕上がりました。



食育

7月の食育は、とうもろこしと枝豆の皮むきを行いました。栄養士の方から剥き方を教えてもらって早速挑戦!!とうもろこしでは、昨年も行いましたが、保育者が手助けをしないと力が足りず剥けなかったのが、今年は一人で最後まで剥くことができました。この一年で力強さが加わり、逞しくなったのだと感じることが出来ました。

皮をむいたとうもろこしや枝豆は、おやつの際にいただきました。「苦手だけど食べる」と言って完食する子どももいて、少しでも食に興味を持つきっかけになったようです。

～水遊び～

7月に入り水遊びが始まりました。梅雨の雨が続き、猛暑のため戸外に出られない日も多かり、思うように活動ができない日がありますが、環境が整った時には夏ならではの水に触れる経験ができ、子どもたちも嬉しそうです。

子どもたちは「早くやりたいっ！」と朝からわくわくしている様子で、準備もあっという間に行っています。水鉄砲で友だちと水を掛け合い大声で笑い合う姿や、宝探しゲームをして水の中にある宝物を必死に探し見つけた時に嬉しそうな表情を浮かべる様子も見られました。みんなでワニ歩きをした時には、水を嫌がらず上手に前に進み、保育者が作るトンネルをくぐり喜ぶ姿もありました。

水遊びだけでなく、色水や泡遊びなどこの時期ならではの遊びも行い、様々な感触に触れる機会を作りたいと思います。

夏場は疲れやすいので、体調管理に気を配り元気に過ごしていきましょう！

